

## 用語解説

雑誌名	国立民族学博物館調査報告
巻	114
ページ	215-221
発行年	2013-06-28
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/00008925">http://hdl.handle.net/10502/00008925</a>

## 用語解説

### <歴史・社会>

#### ヌトック (nutuy)

一般に「ヌトック」という語は「故郷」を意味する。本調査地においては、そうした普遍的な意味に加えて「同族集団または同一地域の人びと」という人間集団を指し、むしろこちらの意味で使われることのほうが多い。本調査対象となる人びとにとっては、具体的には「バンギン・トルグード」を指している。

#### アルタイン・サブダグ (エゼン) (Altai-yin sabday)

「アルタイ」は山に由来する地域名であり、サブダグ或いはエゼンは一般に「主(ぬし)」を意味する。西モンゴル諸集団のあいだで生活空間を「アルタイ・ヌトック」と呼び、その土地と住人を守護する聖なる存在を「アルタイン・サブダグ」あるいは「アルタイ・エゼン」と称す。全身を黒い毛で覆われた生き物「アルマス」と理解されている。

#### バンギン (Bang-un)

モンゴル国ホブド県ブルガン郡に集住するトルグード人の一族である。この語は「バンガハン」とも同義で使われる。両者ともに「ワンギン」すなわち「ワン(王)の」という言葉に由来し、当該集団を指す用語となっている。

#### ベーリン (Beyile-yin)

バンギン・トルグードと同様に、トルグード人集団である。「ベーリン」すなわち「ベール(貝勒)の」という言葉に由来し、「貝勒」は清朝時代に領主に与えられた爵位である。現地の人びとの伝承によれば、バンギン・トルグードとベーリン・トルグードの領主は兄弟であり、それぞれ清朝時代に「親王」と「貝勒」の爵位を与えられたため、両者の配下にある人びとは各々、王のトルグード、貝勒のトルグードと呼ばれている。

#### アープ・ノヤン (Abu noyan)

「アープ」は父、「ノヤン」は一般に貴族を意味する。ここでは19世紀末から20世紀初頭にかけて領主であったミシグドンルブを指している。彼は1884年、当該一族の6代目の君王として世襲し、1917年に親王の爵位を得た。隷属民から「アープ・ノヤン」

(父なる領主様) と呼ばれていた。

#### グループ (gürüpü)

一般に「群, 集団」を意味する外来語であり, モンゴル革命の下部組織を称した。1919年に共戴モンゴル自治権が撤廃されたとき, スフバートル, チョイバルサンらによって革命グループが組織された。1920年に革命グループは革命党を創設し, 次第に義勇兵グループを編成していった。

#### ホボグ (Qobuγ)

中国新疆ウイグル自治区のホボグサイリ地域から移動してきたトルグード集団を指す。ホボグあるいはホボグサイリ (Qobuγsair) と呼ばれる。

#### フレー (küriy-e)

一般に「囲い」を意味するモンゴル語で, 寺院を指すことが多い。移動集団にとっての拠点となる。

#### マンジ (manji)

入門小僧。

#### ジャズ (Jazi)

人民革命以前のチベット仏教寺院に付随する経営管理組織。寄進された家畜の群れを持ち, 地域住民に委託放牧をすることによって, 人びとの生計を支援していた。

#### ホルジャン (qurjan)

村のように人びとが集まっているところ。ウイグル族や回族の「ホジャ」に由来し, 貴族とその親戚や配下から構成される。

#### ネグデル (negedül)

社会主義的集団化の政策に基づく, 牧畜協同組合。元来, 「統一」を意味することば。

#### バリガド (bariyada)

牧畜協同組合「ネグデル」の下部組織。ロシア語からの借用語。

#### ホルシヨ (qorsiy-a)

社会主義的集団化の政策に基づく, 商業組合。元来, 「協力」を意味することば。

ツェグ (čeg)

一般に「点」を意味する。家畜の診断、治療、処理などをおこなう拠点。

トーブリ (tayuburi)

家畜を追って市場へ供給する仕事。社会主義時代、秋になると担当者が家畜群を放牧しながら、首都や国境貿易口へ移動した。

## <民族・文化>

ホイホイ (Quyí Quyí)

漢字で「回回」とつづる。回族のことをモンゴル人は通常ホイホイと呼ぶ。

チャントー (čantuu)

中国語「纏頭」は、長い白布を頭に巻くことを意味する。本調査地ではウイグル人を指す。

ガラマグ (Γalmay)

モンゴルを意味するカザフ語。カザフ人は、モンゴル人のことを「ガラマグ」と言う。

ジュルマ (julum-a)

移動式住居の一部を使った小さな住居。呼び方は地域によって異なる。天窓と屋根棒を用い、格子壁を用いない住居は「チェジン (胸)・ゲル」(アラシャ盟), 「ジュルマ」(新疆, アラシャ盟), 「テゲレー」(青海省) という。天窓と格子壁を用いて屋根棒を用いない住居は「オルツァ」という。

キーリン (kiling)

ワイシャツのような薄い衣服。

マイグ (mayıǵ)

下半身に着る衣服。2種類ある。1つは俗人が着るズボンのような衣類であり、足首から膝までの長さで、膝から紐で引いて腰のところで縛る。もう1つはスカートのような衣類で、僧侶の下着。

ツァリグ (čariǵ)

手作りの革靴。ブーツの形をしたフェルト製のソックス「トーク」を履き、その外側に革靴を履く。

トーク (toogu)

手作りのフェルト製靴下。長いソックスのようなもので、外側に革靴「ツァリグ」を履く。

ツァリグと合わせて「トルグード人のトーク靴」と言われている。

トールツグ (toyrūčuy)

トルグード人の女性がかぶる円形の帽子。

アブジ (abuji)

女性に対する呼び方。たとえば、子供が来客の婦人に対して「アブジ、いらっしゃい」ということもあれば、来客の婦人は子供を「おや、アブジ、何をしていますか」ということもあるという。本テキストではノースタイが母のことをそう呼んでいる。

コツ (köče)

穀物の粒を砕いてざらざらな状態で肉汁に入れて食べる料理。

バンタン (bantān)

小麦粉を溶かして肉汁に入れた粥のような料理。

フイス (küyisü)

本来は「へそ」を意味するが、円形の動きの中心という意味で使われる。具体的には、脱穀作業で臼を回すときの中心地。

カザフ・シャナガ (qasay sinay-a)

「シャナガ」は杓子を意味するモンゴル語である。本調査地ではカザフ人がよく使うために、カザフ・シャナガすなわち「カザフ人の杓子」と言われることもある。

トゥング (tūngge)

ハネガヤ草の一種 (*Achnatherum splendens*)。モンゴル国中央部や東部ではデルスと呼ばれている。

ハラガナ (qargan-a)

マメ科の灌木 (*Caragana microphylla*)。モンゴル高原には約80種のハラガナ (カルガナ) があるとされている。

## ゾド (jud)

雪の多い雪害や、温度が極端に低い凍害がある。夏に乾燥していると越冬できず被害が大きくなる。一般に12年に1度の割合で起こると認識されており、申年に多いとされる。1944年がまさに「申年のゾド」であった。

## 人名

### アムルジャヤ (Amurjayay-a)

バンギン・トルグード集団の兵隊を率いて回族に抵抗した人物。本文の話者ノースタイ氏の親戚の叔父にあたる。

### チヨバイルサン (Čoyibalsang)

モンゴル人民共和国の人民革命を牽引した政治家 (1895-1952)。1930年代の肅清を遂行したので「モンゴルのスターリン」と呼ばれることもある。1937年にモンゴル人民共和国全軍総司令官に任じて以来、人びとから「元帥」と呼ばれていた。

### オスマン (Osman)

オスマン・バトゥル (1899-1951)。1940年代初めに、モンゴル国と中国の国境付近でカザフ人の蜂起を指揮した。彼の死後、配下の集団はヒマラヤを越えてアナトリア半島まで移動した。

### マージョンイン (Ma Zhongying)

馬仲英 (1908-1938)。甘粛から新疆まで勢力を伸ばした回族出自の軍閥。従兄弟たちと一緒に馬氏軍閥となり、40年間にわたり青海を掌握していた。

## 地名

### ブルガン (Bulayan)

アルタイ山脈より出て南麓を通り中国領内を流れる川の名前。そのあたりを中心にモンゴル国ホブド県の下位行政区としてブルガン郡が置かれた。

### ダシワンジル (Dasiwangjil)

モンゴル国ホブド県ブルガン郡にある山。バンギン・トルグード人たちが聖地としてオボーをおいて祭っている。

### バイタグ (Baitay)

モンゴルと中国の国境にそびえる山。漢字で「北塔山」あるいは「拜塔克山」とつづ

る。1947年6月5日、モンゴルと中国のあいだで起こった「北塔山事件」が知られている。砦は中国領内に造られた。

#### イジンマジン (Ijin-majin)

仏の居るところと伝えられる。語り手はダライ・ラマの居るところ、すなわちラサとみなしている。ただし、モンゴル人にとってチベット仏教の聖地としては、ラサ (Zuu) のほかに、五台山 (Üte-Gunmun)、塔尔寺 (Amdu-machin)、ダラムサラ (Enetkeg-Jar) がある。音から見て、アムド (青海省) の西寧市から西南30キロメートルほどに位置するタール寺である可能性が高い。

#### チョンジ (Čonji)

現在の中国新疆ウイグル自治区、昌吉

#### ツァガン・ゴル (Čaγan-γool)

現在の中国新疆ウイグル自治区内。

#### ハミ (Qami)

現在の中国新疆ウイグル自治区、哈密。

#### ジェレ・ハラ (Jel-e-qar-a)

現在の中国新疆ウイグル自治区内。

#### サントイ (Santai)

現在の中国新疆ウイグル自治区、昌吉回族自治州、吉木薩尔県、三台鎮。

#### シヨルンクー (Siyoo-lüng-keu)

現在の中国新疆ウイグル自治区、昌吉回族自治州、吉木薩尔県、大有郷、小龍口村。

#### ジムセル (Jimsar)

現在の中国新疆ウイグル自治区、昌吉回族自治州、吉木薩尔県。

#### セチンホー (Sečenqoo)

現在の中国新疆ウイグル自治区、昌吉回族自治州、吉木薩尔県にある地名。

テンゲル・エレス (Tegri elesü)

現在の中国新疆ウイグル自治区内にある砂漠名。

新ブルガン (šin-e Bulaγan)

現在のモンゴル国バヤンウルギー県内にある地名。

フフ・エレゲ (Köke-ergi)

モンゴル国とロシアの国境にある地名。

ハラ・シャラ (Qarašar-a)

現在の中国新疆ウイグル自治区内。